



2025年 10月期 第2四半期決算説明会資料

(2024年11月-2025年4月)

2025年6月27日

巴工業株式会社

(証券コード：6309)



ページ	目 次	トピックス
3	2025年 10月期 第2四半期決算概要	両事業共に販売が伸長し、前年同期に比べ増収増益
11	2025年 10月期 通期業績見通し	- 業績見通しを上方修正 - 売上、各利益ともに過去最高を更新する見込み
19	株価の状況と配当について	期末配当予想の修正（株式分割前換算で3円の増配） ＊ 前年度対比6円増配
23	トピックス	- 化学工業製品販売事業：高付加価値エポキシ樹脂原料 - 機械製造販売事業：第三の柱となる新規製商品



2025年 10月期 第2四半期決算概要

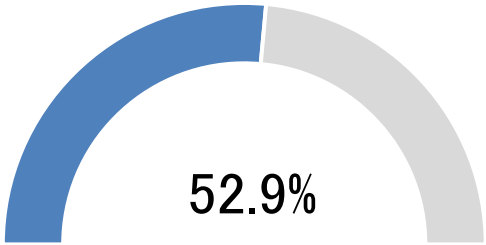
2025年10月期 第2四半期決算



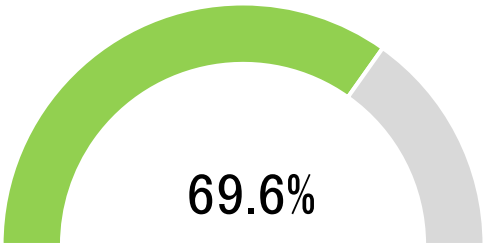
- 売上高は、化学工業製品販売事業、機械製造販売事業いずれも販売が伸長したことから前年同期比17.8%増
- 経常利益は、両事業の増収を背景に前年同期比23.9%増

(単位:百万円)

	24/04	25/04	前年対比	
	実績	実績	増減	前年比 (%)
売上高	26,580	31,316	+4,735	+17.8
営業利益	2,958	3,711	+753	+25.5
経常利益	3,007	3,726	+718	+23.9
当期純利益	2,138	2,565	+427	+20.0



売上高進捗率



経常利益進捗率

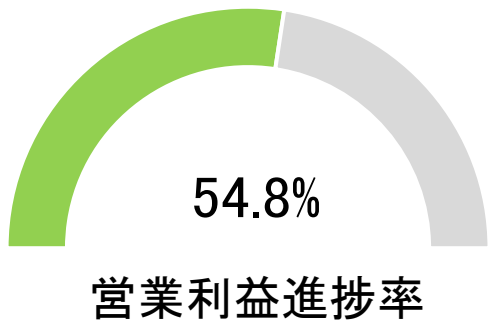
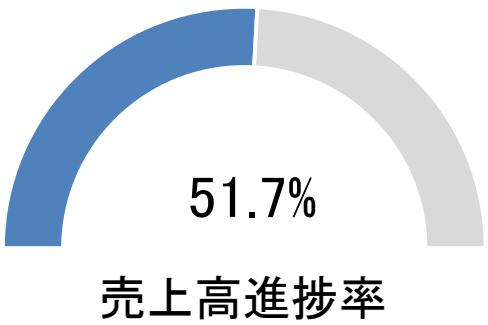
2025年10月期 第2四半期決算 -化学工業製品販売事業-



- 売上高は、樹脂向け添加剤、コーティング用途向け材料等を中心に伸長し前年同期比16.6%増
- 営業利益は増収により前年同期比2.6%増

(単位: 百万円)

	24/04		25/04		
	金 額	利益率 (%)	金 額	前年比 (%)	利益率 (%)
売上高	19,277	—	22,479	+16.6	—
売上総利益	4,357	22.3	4,589	+5.3	20.4
営業利益	1,779	9.3	1,825	+2.6	8.1



2025年10月期 第2四半期決算 -化学工業製品販売事業-



(単位:百万円)

	24/04	25/04	差 異	主な増減要因
化成品関連	4,494	5,385	+890	新規商権獲得によりコーティング用途向け材料が好調
鉱産関連	3,178	7,246	+4,068	中国の輸出規制により樹脂向け添加剤(三酸化アンチモン)が好調
工業材料関連	3,225	3,093	▲131	超高層ビルの工期遅れ、住宅着工件数減少等により建材・耐火物向け材料が低調
機能材料関連	3,421	2,642	▲778	EV市況の悪化によりパワー半導体向け部材が低調
電子材料関連	2,427	2,159	▲267	半導体市況の低迷により半導体組立用途向け材料が低調
合成樹脂関連	2,401	1,950	▲451	星際Grの清算に向けた販売減、および中国市況悪化により低調
合 計	19,277	22,479	+3,201	

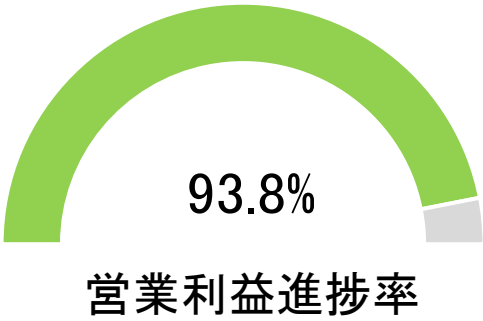
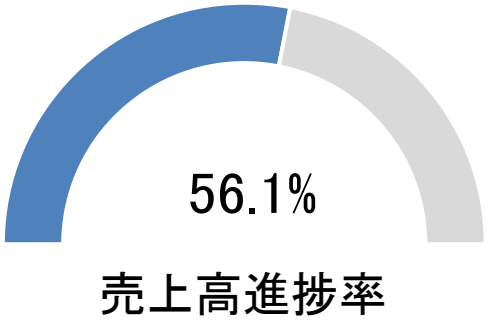
2025年10月期 第2四半期決算 -機械製造販売事業-



- 売上高は、好調な受注に支えられ、官需が全般的に好調だったことに加えて、民需向け機械および部品/修理販売、海外向け装置/工事販売が伸長したことから前年同期比21.0%増
- 営業利益は増収により前年同期比60.0%増

(単位: 百万円)

	24/04		25/04		
	金 額	利益率 (%)	金 額	前年比 (%)	利益率 (%)
売上高	7,302	—	8,837	+21.0	—
売上総利益	2,994	41.0	3,876	+29.5	43.9
営業利益	1,179	16.1	1,886	+60.0	21.3



2025年10月期 第2四半期決算 -機械製造販売事業-



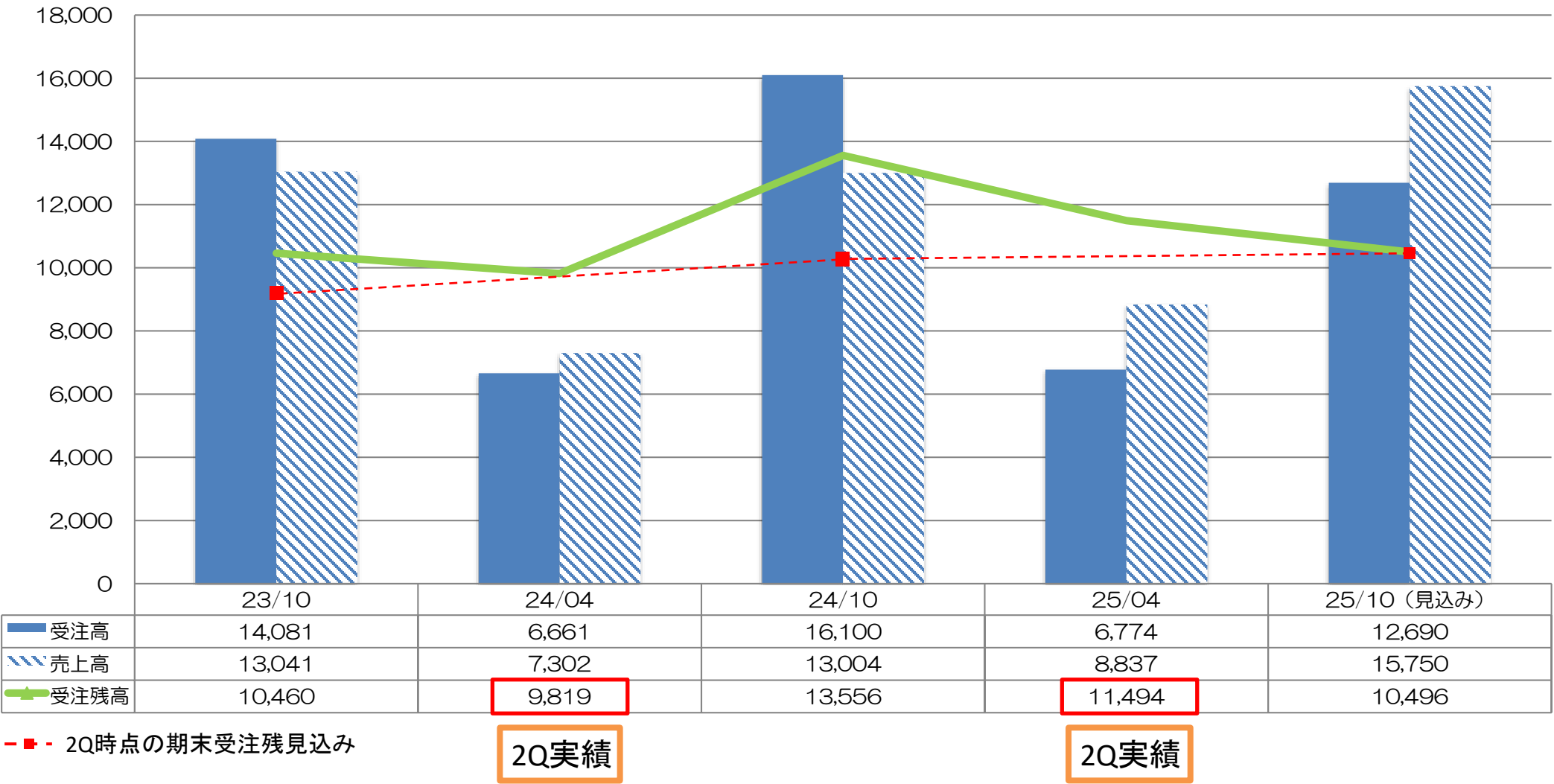
(単位:百万円)

	品目区分	機 械	装置/工事	部品/修理	合 計	主な増減要因
官 需	24/04	231	748	2,104	3,085	・大都市圏での元請受注増加ならびに部品修理の好調により増収
	25/04	393	849	2,516	3,758	
	差異	+161	+100	+412	+673	
民 需	24/04	432	300	1,017	1,750	・民間企業の活発な設備投資による石油化学、医薬向けの好調で機械、部品修理が増収
	25/04	830	59	1,644	2,533	
	差異	+397	▲240	+627	+783	
海 外	24/04	967	0	1,499	2,466	・半導体向け装置の販売により装置工事が増収 ・部品修理は前期に大型の繰越案件があったことで反動減となるも、堅調に推移
	25/04	825	269	1,449	2,544	
	差異	▲141	+268	▲50	+77	
合 計	24/04	1,632	1,049	4,620	7,302	・全体では部品修理の好調が増益に寄与
	25/04	2,049	1,178	5,609	8,837	
	差異	+416	+128	+989	+1,534	

2025年10月期 第2四半期受注残 -機械製造販売事業-



(単位:百万円)



2025年10月期 第2四半期決算-B/S (連結)-



(単位:百万円)

	24/10	25/04	増減	前年比 (%)	主な増減要因
流動資産	42,239	40,643	▲ 1,596	▲ 3.8	現金及び預金 ▲4,167 受取手形、売掛金及び契約資産 +1,645
固定資産	10,949	13,156	+2,206	+20.2	土地 +2,297
資産合計	53,189	53,800	+610	+1.1	
	24/10	25/01	増減	前年比 (%)	主な増減要因
流動負債	13,247	11,823	▲ 1,423	▲ 10.7	支払手形及び買掛金 ▲1,050 電子記録債務 ▲1,015
固定負債	590	815	+225	+38.1	
負債合計	13,838	12,639	▲ 1,198	▲ 8.7	
純資産合計	39,351	41,160	+1,809	+4.6	利益剰余金 +1,747
負債・資本合計	53,189	53,800	+610	+1.1	



2025年 10月期 通期業績見通し

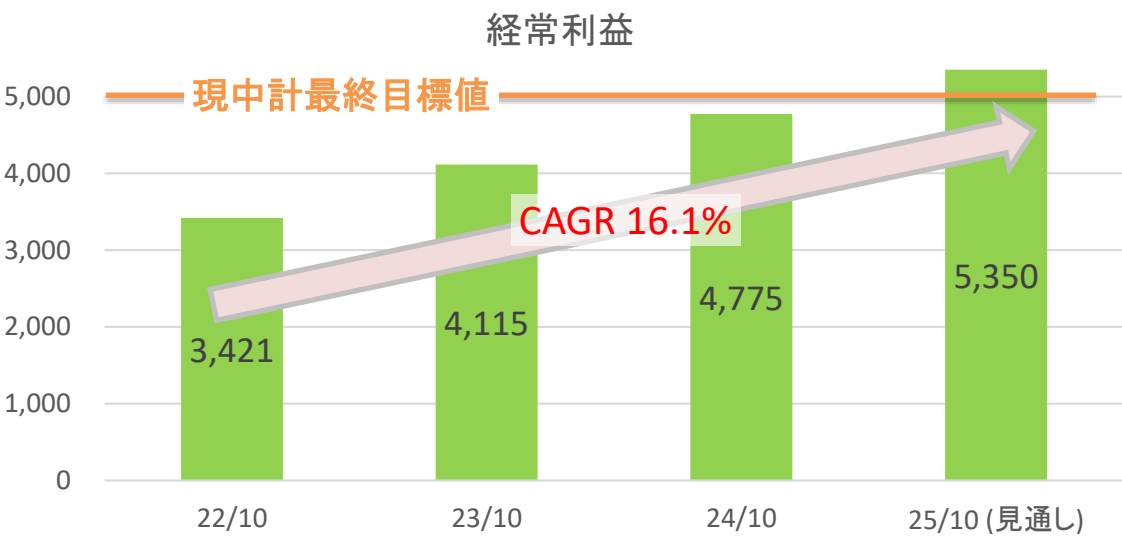
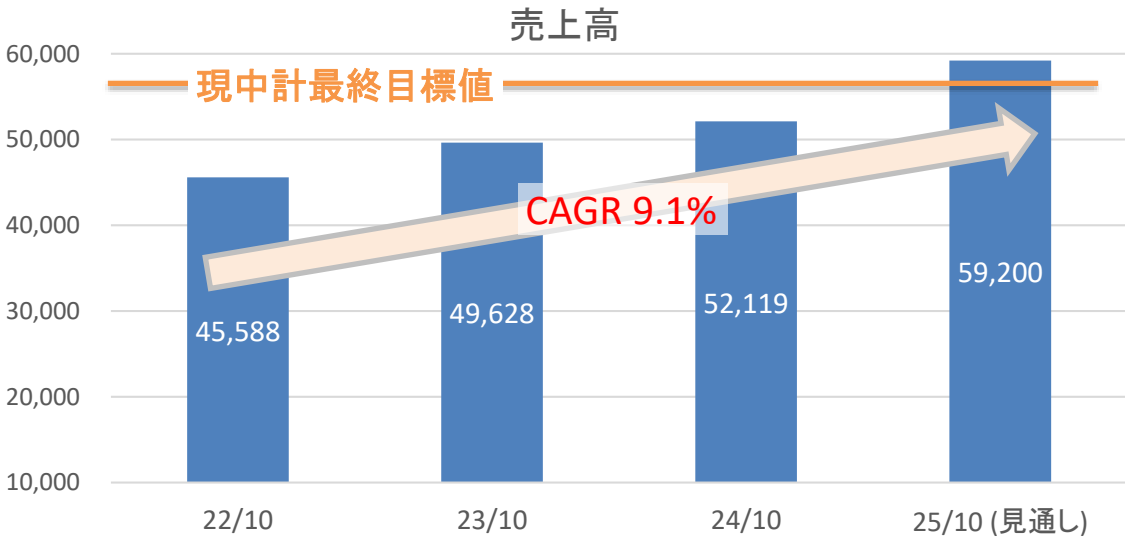
2025年10月期 通期業績見通し



- 業績見通しを上方修正
- 売上、各利益いずれも過去最高の更新を見込む

(単位:百万円)

	24/10	25/10		前年対比	
	実績	上期実績	下期見通し	増減	前年比(%)
売上高	52,119	31,316	27,884	+7,080	+13.6
営業利益	4,703	3,711	1,589	+596	+12.7
経常利益	4,775	3,726	1,624	+574	+12.0
当期純利益	3,616	2,565	1,195	+143	+4.0



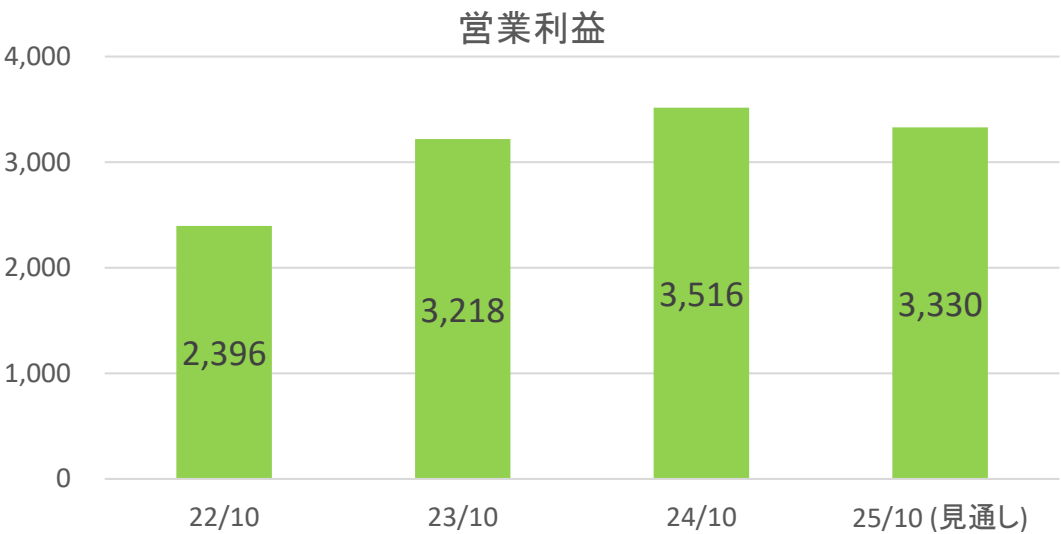
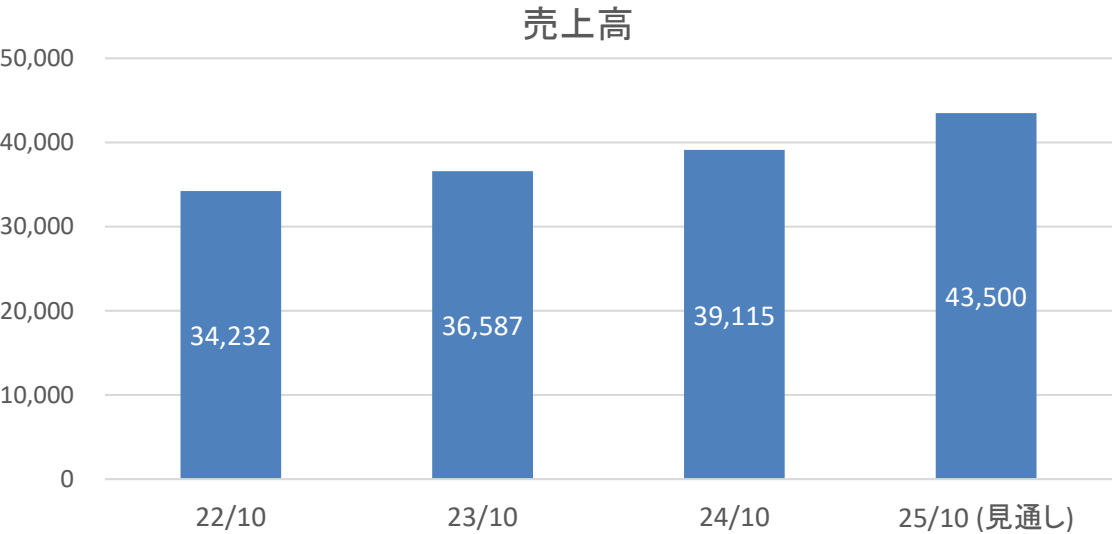
2025年10月期 通期業績見通し -化学工業製品販売事業-



- 売上高は化成品、鉱産の販売増により前年度比11.2%の増収を見込む
- 営業利益は人件費や営業開発関係等による販管費の増加を見込み前年度比5.3%減

(単位:百万円)

	24/10		25/10				
	実績	利益率 (%)	上期実績	下期見通し	通期見通し	前年比 (%)	利益率 (%)
売上高	39,115	-	22,479	20,971	43,450	+11.1	-
売上総利益	8,692	22.2	4,589	4,381	8,970	+3.2	20.6
営業利益	3,516	9.0	1,825	1,505	3,330	▲5.3	7.7



2025年10月期 通期業績見通し(前年度比) -化学工業製品販売事業-



- ・ 化成品、鉱産の好調により全体では増収を見込む
- ・ 米国の追加関税は一部自動車向け商材に影響が及ぶものの、全体では軽微の見込み

(単位:百万円)

	24/10	25/10 見通し	差異	主な増減要因
化成品関連	9,633	10,560	+926	新規商権獲得によりコーティング用途向け材料が好調
鉱産関連	6,329	12,990	+6,660	中国の輸出規制により樹脂向け添加剤(三酸化アンチモン)が好調
工業材料関連	6,592	6,480	▲112	超高層ビルの工期遅れ、住宅着工件数減少等により建材・耐火物向け材料が低調
機能材料関連	7,204	5,430	▲1,774	EV市況の悪化によりパワー半導体向け部材が低調
電子材料関連	4,679	4,370	▲309	半導体市況の低迷により半導体組立用途向け材料が低調
合成樹脂関連	4,523	3,620	▲903	星際Grの清算に向けた販売減および中国市況悪化により低調
合 計	39,115	43,450	+4,334	

2025年10月期 通期業績見通し（上期下期対比）-化学工業製品販売事業-



- 全般的に下期も上期と同様の推移を見込むものの、鉬産関連は上期と比べやや減収となる見込み

（単位：百万円）

	上期 実績	下期 見通し	25/10 見通し	上下 差異	主な増減要因
化成品関連	5,385	5,175	10,560	▲210	サプライヤーと大口顧客の工場定修が下期に発生し、上期比でマイナスを見込む
鉬産関連	7,246	5,744	12,990	▲1,502	中国以外からのアンチモン輸入量が増加していることから下期は上期比で減収を見込む
工業材料関連	3,093	3,387	6,480	+294	超高層ビル向け販売のずれ込み等により下期は上期比でやや増収を見込む
機能材料関連	2,642	2,788	5,430	+146	今期中はパワー半導体市況の回復は見込めず
電子材料関連	2,159	2,211	4,370	+52	今期中は半導体市況の低迷に変化は見込めず
合成樹脂関連	1,950	1,670	3,620	▲280	海外子会社（星際Gr）の清算に向けた生産停止により下期は上期比で減収を見込む
合 計	22,479	20,971	43,450	▲1,508	

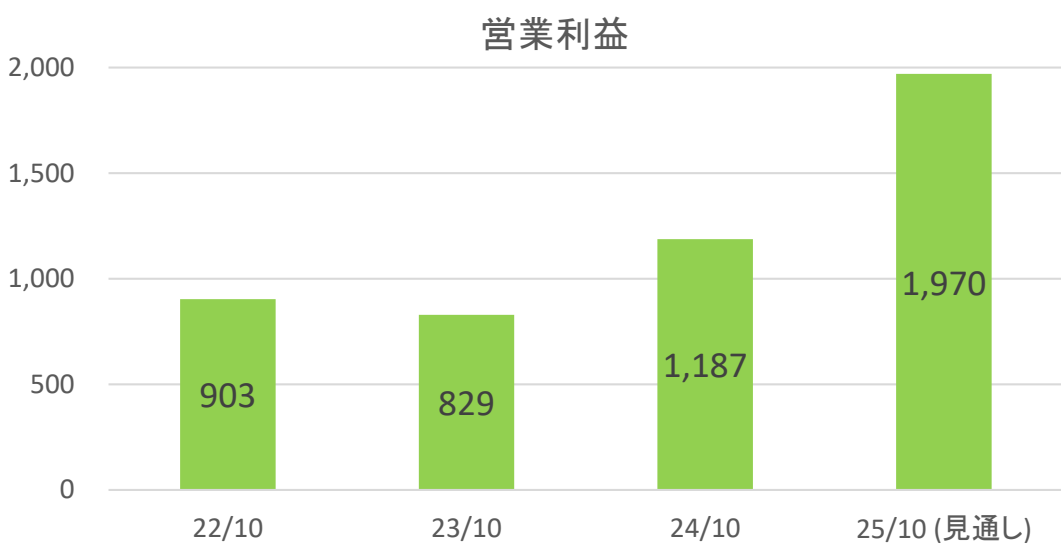
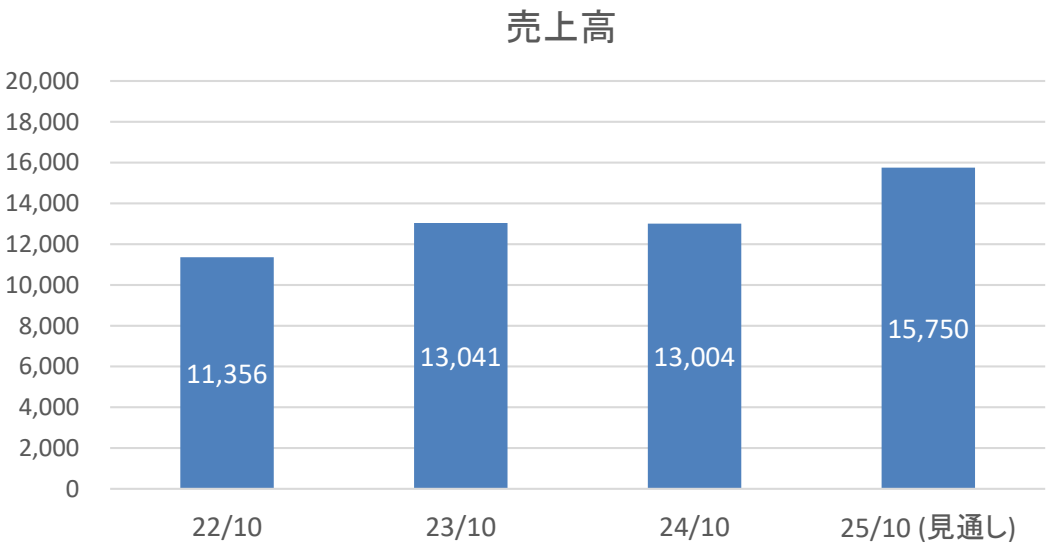
2025年10月期 通期業績見通し -機械製造販売事業-



- 売上高は国内官需・民需向け全般が好調を見込むことから前年度比21.1%増
- 営業利益は販管費の増加を見込むものの増収効果により前年度比66.0%増

(単位:百万円)

	24/10		25/10				
	金 額	利益率 (%)	上期実績	下期見通し	通期見通し	前年比 (%)	利益率 (%)
売上高	13,004	-	8,837	6,913	15,750	+21.1	-
売上総利益	4,799	36.9	3,876	2,244	6,120	+27.5	38.9
営業利益	1,187	9.1	1,886	84	1,970	+66.0	12.5



2025年10月期 通期業績見通し(前年度比) -機械製造販売事業-



- 米国の追加関税は今期においては影響はない見通し

(単位:百万円)

	品目区分	機 械	装置/工事	部品/修理	合 計	主な増減要因
官 需	24/10	414	1,164	2,936	4,515	
	25/10	1,106	1,494	3,407	6,009	・大都市圏での元請受注増加により増収を見込む
	差異	+692	+330	+471	+1,494	
民 需	24/10	857	339	2,429	3,626	・民間企業の活発な設備投資により増収を見込む
	25/10	1,427	688	2,851	4,966	・装置工事は半導体向け、廃プラ向けの販売による増収を見込む
	差異	+570	+349	+422	+1,340	
海 外	24/10	1,650	73	3,138	4,862	・半導体向け装置の販売により装置工事が増収を見込む
	25/10	1,485	276	3,011	4,774	・部品修理は前期に大型の繰越案件があったことによる反動減を見込む
	差異	▲165	+203	▲127	▲88	
合 計	24/10	2,922	1,577	8,504	13,004	
	25/10	4,019	2,459	9,270	15,750	
	差異	+1,097	+882	+766	+2,746	

2025年10月期 通期業績見通し(上期下期対比) -機械製造販売事業-



(単位:百万円)

	品目区分	機 械	装置/工事	部品/修理	合 計	主な増減要因
官 需	上期実績	393	849	2,516	3,758	・年度末まで(～3月)に納期が集中することから例年通り下期は上期比で大幅減収を見込む ・機械は下期納期の販売が増加を見込む
	下期見通し	713	645	891	2,251	
	差異	+320	▲204	▲1,625	▲1,507	
民 需	上期実績	830	59	1,644	2,533	・上期に機械、部品修理の納期が集中したことにより下期は上期比で減収を見込む ・装置工事では下期に半導体向け、廃プラ向けの販売を見込む
	下期見通し	597	629	1,207	2,433	
	差異	▲233	+570	▲437	▲100	
海 外	上期実績	825	269	1,449	2,544	・上期は半導体向け装置販売により伸長したことから下期は反動減を見込む
	下期見通し	660	7	1,562	2,230	
	差異	▲165	▲262	+113	▲314	
合 計	上期実績	2,049	1,178	5,609	8,837	・下期は上期と比べ、部品修理の販売が大きく減少することにより減収減益を見込む
	下期見通し	1,970	1,281	3,661	6,913	
	差異	▲79	+103	▲1,948	▲1,924	



株価の状況及び配当に関して

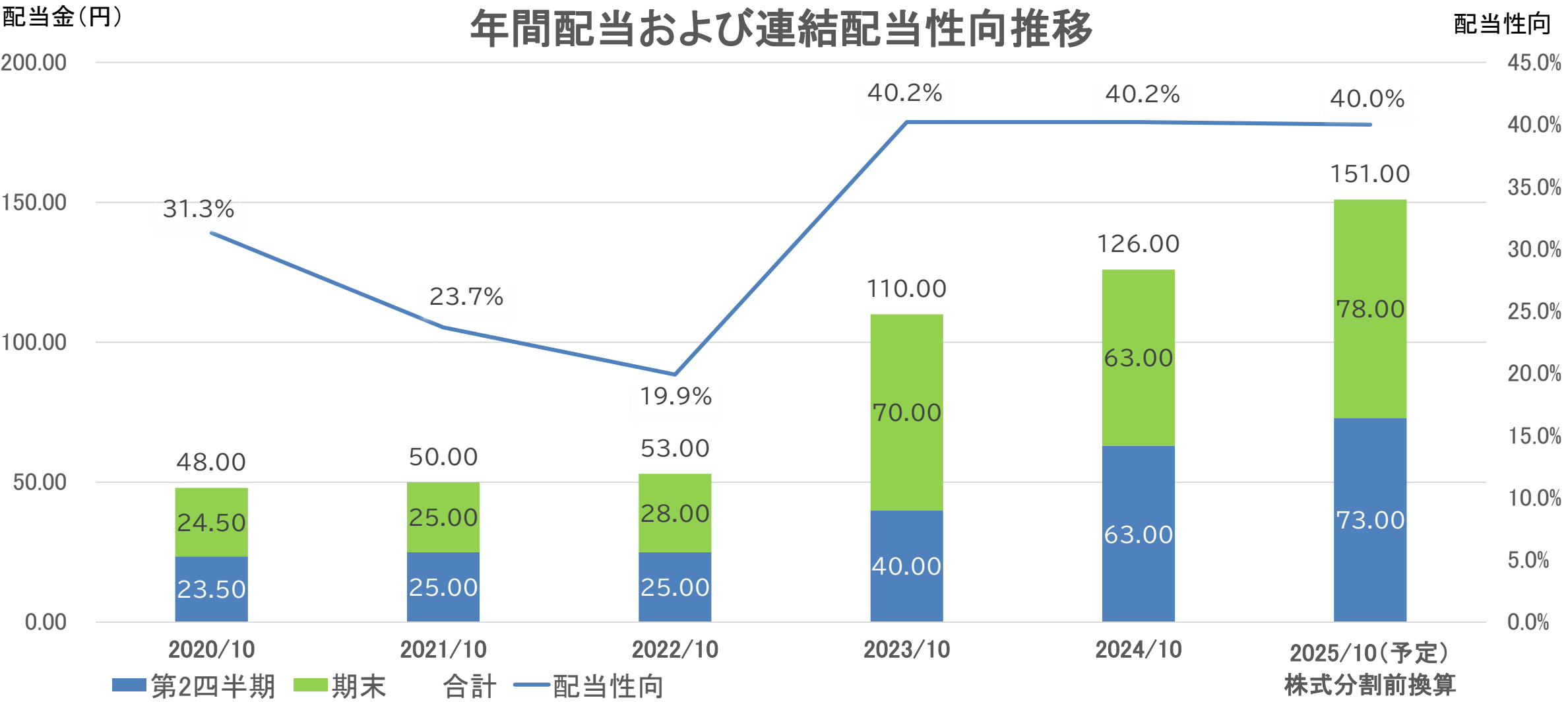
年間配当予想



- 2025年5月1日付けで普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施
- 株式分割を考慮しない2025年10月期(予想)の1株当たり期末配当金は78円00銭
→ 1株当たり年間配当金は6円増配の151円00銭

	一株当たりの配当金		
	第2四半期末(中間)	期末	合計
前回予想 (株式分割前換算) 【2025年3月24日発表】	—	25円00銭 (75円00銭)	— (148円00銭)
今期修正予想 (株式分割前換算)	—	26円00銭 (78円00銭)	— (151円00銭)
当期実績	73円00銭	—	—
前期実績 【2024年10月期】	63円00銭	82円00銭	145円00銭

株主還元(配当)



株価と出来高推移



2025年6月26日時点

- ・株価 1,416 円 (PBR 1.03倍)
- ・出来高 (直近3ヶ月平均) 77,049 株
- (前年同期) 23,652 株
- (前々年同期) 15,103 株

対象期間: 2023年1月4日 ~ 2025年6月26日



* 上記の「PBR 1倍ライン(株価 1,375円)」は、2025年10月期 第2四半期末時点の情報より算出



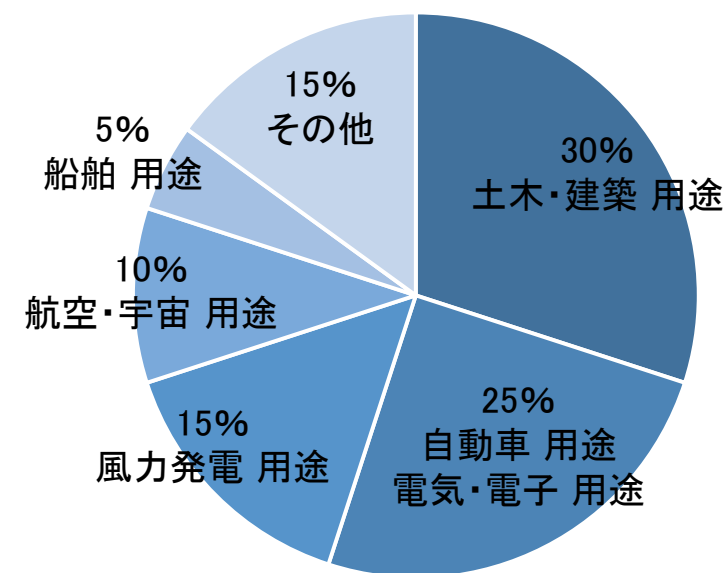
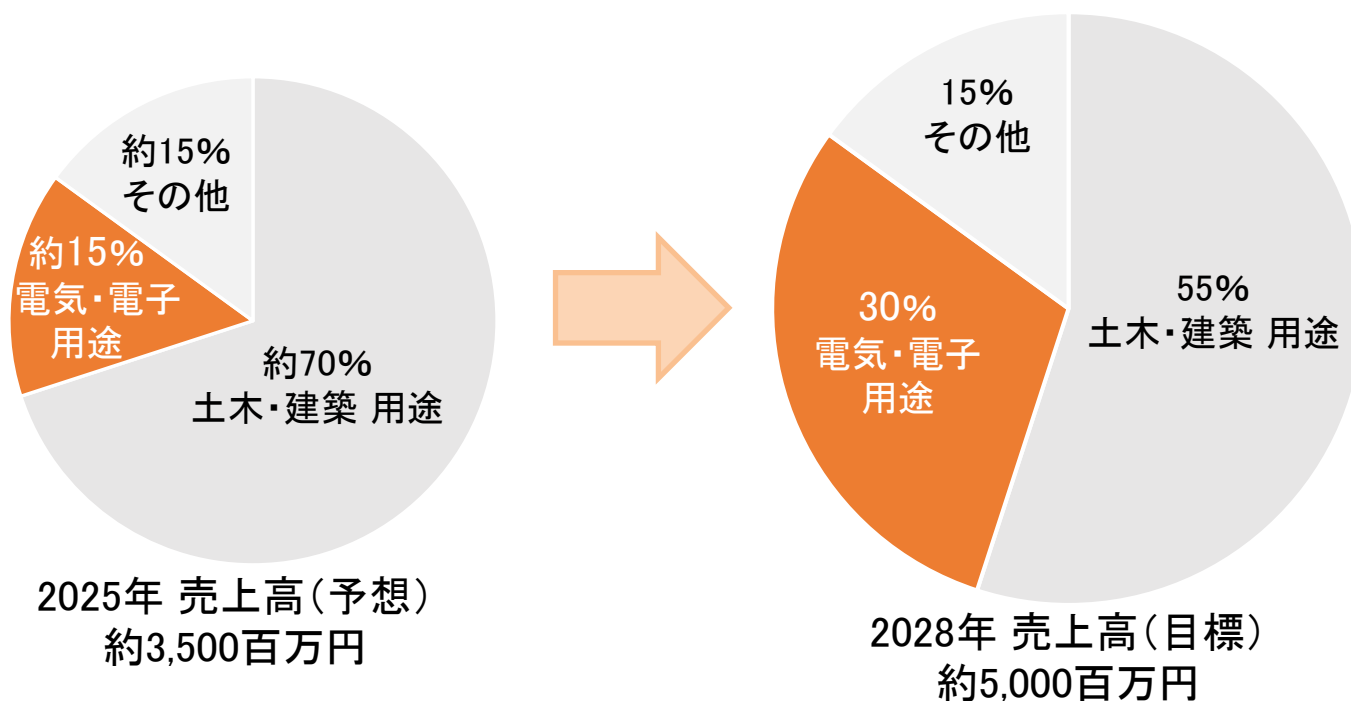
トピックス

1) エポキシ樹脂の概要

エポキシ樹脂の元となる「主剤」と、主剤を固めるための「硬化剤」を混ぜ合わせる事で化学反応が起こり、エポキシ樹脂が出来上がります

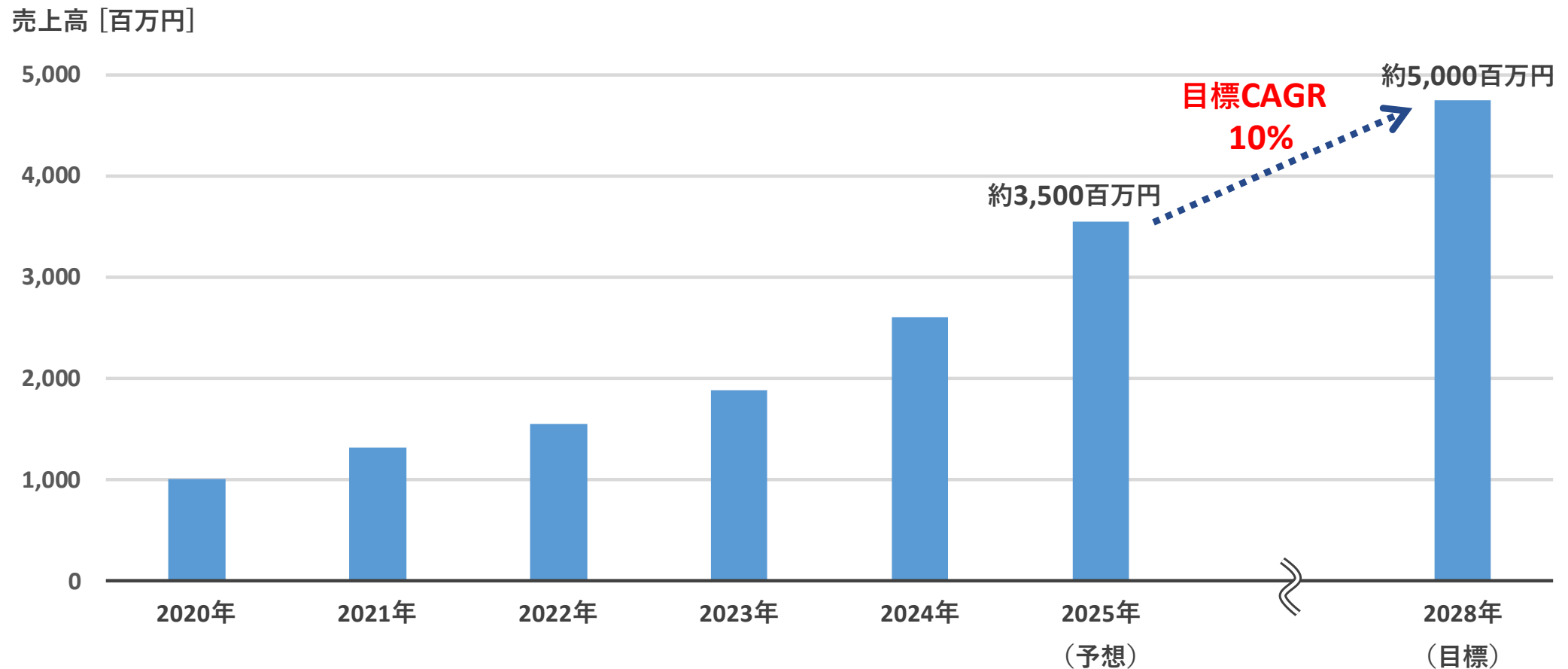
2) 当社エポキシ樹脂原料の販売用途と今後の拡販戦略

＜参考：エポキシ樹脂の国内マーケット＞



日本国内の需要：105,000トン（当社調べ）

当社エポキシ樹脂原料の売上高推移



超低温ベルト乾燥機

WATROPUR
Cold temperature Sludge drying solutions



 TOMOE Engineering Co., Ltd.

含水率80%→10%に低減できるため、
汚泥処理で最も金銭的負担の大きい
汚泥処分費を最大80%削減

焼却設備(110–700℃)不要
↓
低温(約40℃)で処理可能

ユーティリティは
電気と冷却水のみ使用

＜ターゲット市場＞

下水処理場・し尿処理場を中心に
約500カ所



2025年1月から2月にかけて官公庁の現場実験を実施し導入に向けて商談中

スイスのWATROPUR社製

真空蒸発濃縮装置（エバポレータ）

排水を減圧蒸留し、蒸留水として再生することで産廃費用を削減する装置

ヒートポンプ式採用
小～中規模処理まで豊富な
ラインアップで対応

サーマル式：石油由来エネルギー
ヒートポンプ式：再生エネルギー
を使用することで脱炭素に貢献

サーマル式：熱源が不安定
ヒートポンプ式：熱源安定

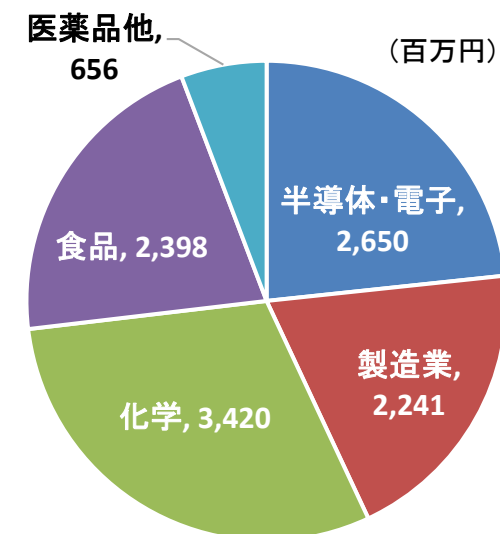
＜ターゲット市場＞

環境対策(脱炭素)を検討している
食品、化学を中心に営業展開

＜用途＞

- ・ 食品：食品工場排水
- ・ 化学：塗料廃水
- ・ 半導体・電子：半導体洗浄廃水
- ・ 製造業：クーラント廃水
- ・ 製造業：メッキ廃水

市場規模予測-2030年



イタリアのECO-TECHNO社製



〈注意事項〉

本資料に掲載されている業績予想等は、当社が現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいており、実際の業績は様々なリスクや不確定な要素などの要因により異なる可能性があります。

IRに関するお問い合わせ
巴工業株式会社
経営企画部 IR・企画課
E-mail : ir-info@tomo-e.co.jp